

1. Report No. SWT-2016-8		2. Government Accession No.		3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle 自動車の自動化の異なったレベルに対する ドライバーの嗜好・意見：2016				5. Report Date May 2016	
				6. Performing Organization Code 383818	
7. Author(s) Brandon Schoettle and Michael Sivak				8. Performing Organization Report No. SWT-2016-8	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.				10. Work Unit no. (TRAIS)	
				11. Contract or Grant No.	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation				13. Type of Report and Period Covered	
				14. Sponsoring Agency Code	
15. Supplementary Notes Information about Sustainable Worldwide Transportation is available at http://www.umich.edu/~umtriswt .					
16. Abstract この報告は、自動運転車に関する最近の 8 つのレポート（世論調査、人間工学、安全に関する問題）を基にしている。調査は、2015 年と同様に実施された。調査は、自動車の自動化の異なったレベルに対するドライバーの嗜好・意見を調べる為に実施された。（人と自動運転車との相互作用やそれに乗ることに対する全体的な懸念を含む。） 調査では、米国内の運転免許所持者 618 人から有効な回答を得た。 本調査の主な発見は以下である。： ・車両の自動化に対する嗜好で一番多かったのは、自動運転を受け入れられない。 次に一部自動運転、そして、完全な自動運転と続いた。 ・自動運転車両に乗ることに対する不安は、部分的な自動運転車に乗る事よりも、完全な自動運転車に乗る事の方が高いままである。 ・回答者は、まだ圧倒的に必要に応じて完全な自動運転車を手動で操作したいと思っている。 ・完全な自動運転車に対する道順や行先の入力方法については、タッチスクリーン式と音声入力式に意見が分かれた。 ・回答者の大部分は、部分的な自動運転車が手動運転の必要な事をドライバーに伝える方法として、音、振動および視覚を合わせた方法を好む。 ・全体的な世論は、この調査が実施された 2 年で驚くほどに一貫していた。自動運転車両のメディア報道が増加したにも関わらず、回答の一般的なパターンはこれら 2 つの調査において、変化がなかった。					
17. Key Words 自律車両、自動運転車両、無人運転車両、調査、世論調査、米国、ドライバーの嗜好				18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None		20. Security Classification (of this page) None		21. No. of Pages 21	
22. Price					